

追跡レポート

— あの質問のゆくえ —

定例議会で質問された課題が、その後どのように町政に反映されたかを検証します。



きれいアップ講座（蚕桑地区公民館事業）

地区公民館の新体制は

町職員を引き上げる新体制への移行は、時期尚早ではないのですか。社会教育の後退が心配されます。

平成 15年 12月定例議会

町長答弁

地域づくりの拠点としてとらえる
従来の行政からの指導・援助という枠を乗り越える運営が、自立した地域づくりの時代の公民館と考えています。

どうなった

地域主体の運営へ

平成 17年度から、地域主体の公民館運営をめざし、公募による公民館職員の配置や、公民館事業を審議するだけでなく、直接運営にも関わってもらうため公民館運営委員会を設置しました。今までと同様、公民館を利用いただいています。

運営面では「住民が企画段階から公民館事業に関わることができて良かった。」という評価をいただいています。

課題としては、多様化している地域課題を的確に把握し、どのように公民館事業に取り入れていくかだと考えています。

議会の様子を見てください

傍聴手続きは簡単、議会事務局（85-6135）へお問い合わせください。

次の定例議会は **9月** です

● 議会中継もご覧ください

お手持ちのパソコンでご覧いただけます
録画でもご覧いただけるようになりました

HP <http://www.townshiratakyamagata.jp/gkai/>

議会中継

発行責任者・議長
船山 仁
広報委員
委員長 青木 彰榮
副委員長・編集長 関 千鶴子
委員 佐藤 誠七
委員 守谷 丹吾
委員 菅原 隆男
印刷・(有)梅津印刷

今年、何かと中国が話題になる年です。オチベツ自治区での争いや、リンピツ時事件、死食・混入、8万人を死超えたり、大震災害などが目立ちます。安定しない政治や高騰の影響が国民生活を不安にしているようすが、仕事などが嫌になった。むしゃりや無差別殺傷事件が起きています。腹立たしさを感じます。

岩手・宮城内陸地震は、県を含め22名の方が死亡や行方不明になりました。お見舞い申し上げます。

6月16日には、中津川震源とする地震が発生したことから、長井盆地には活動層が走っていることが再認識させられています。個人ごとにも地震対策が必要だと思いましたが、町長は今回の議会でも、町長は秋の町長選に三度出馬する意思を表明しました。今後の町政に良い意味での揺れが起きるの気になるところです。

編集後記

